



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

イベント開催概要・レースレポート

## ■開催概要

- 大会名称 : 2023 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット／東コース(2.243km)
- 開催日・天候 : 6月17日(土)・快晴
- 主催者 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 <https://www.suzukacircuit.jp>
- 開催クラス : ★総参加台数／147台
  - ROAD STAR I／ROAD STAR EXPERT I ..... 12台
  - FUN & RUN Mix Big／EXPERT ..... 25台
  - FUN & RUN Mix Small／EXPERT ..... 20台
  - ROAD STAR WARS I ..... 23台
  - NEO STANDARD<CBR250R> ..... 10台
  - NEO STANDARD<VTR250> ..... 8台
  - NEO STANDARD<G310R> ..... 18台
  - NEO STANDARD<Ninja250R> ..... 16台
  - NEO STANDARD<YZF-R25> ..... 15台



★レースリザルトはインターネットでご覧いただけます。  
[https://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/](https://www.suzukacircuit.jp/result_s/)



★レース写真は、バトルファクトリー様のHPで  
ご購入いただけます。  
<http://www.battle.co.jp/race/top.htm>

## ■次回開催予定

- 大会名称 : 2023 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキット／東コース(2.243km)
- 開催日 : 2023年9月2日(土)
- 開催クラス : FUN & RUN Mix Big／EXPERT、ROAD STAR WARS I、ROAD STAR WARS II、ROAD STAR I／ROAD STAR EXPERT I、ROAD STAR II／ROAD STAR EXPERT II





# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## 開催クラス紹介

### 【NEO STANDARD】

現在、各社から発売されている、手頃な車両価格で最も人気の高い4ストローク250ccマシンによるエントリークラス。カワサキNinja250R、ホンダVTR250、ホンダCBR250R、YZF-R25、BMW G310Rの5車種にクラス分けされています。スプリントレースでありながら、途中ライダー交代またはピットインが必要となります。また、チームエントリーでシリーズ戦として開催し、車両別となったカテゴリーでのチャンピオンが決定するのも人気の理由。ライダーを1大会2名まで登録することができ、チームとしても楽しめる、経済的なクラスとなっています。

#### ●参加車両例

カワサキNinja250R    ホンダVTR250    ホンダCBR250R    ヤマハYZF-R25    BMW G310R

### 【ROAD STAR WARS I/II】

一般公道走行が認められている、いわゆる「ナンバー付」車両による、レース形式競技がこのROAD STAR WARSです。「I」と「II」は車両の大きさの違いであり、2ストローク251cc/4ストローク401cc以上の車両がROAD STAR WARS I、2ストローク86cc～250cc/4ストローク100cc～750ccまでの車両がROAD STAR WARS IIとなります。

●参加車両例    ホンダCBR1000RR    ヤマハYZF-R6    ヤマハFZR400    スズキRGV250γ    カワサキZZR1100 等

### 【ROAD STAR I/II】

ROAD STAR WARS同様、一般公道走行が認められるナンバー付車両による競技です。ROAD STAR WARSとは違い、こちらは全て「タイムアタック形式」の競技となります。また、ライダーのスキルにより、入門者にはCHALLENGERクラスから、上級者にはEXPERTクラスまで幅広く参加できるクラスとなっています。

●参加車両例    ホンダCBR1000RR    ヤマハYZF-R1    トライアンフデイトナ675    ビューエルXB9S    スズキTL1000S

### 【FUN&RUN Mix Small】

いわゆるシングルや小排気量車、すなわち排気量が2st250cc/4st 400cc以下で、ホイールサイズが16インチ以上の一般生産型市販車、単気筒および2気筒エンジンを搭載するバイク、そして400cc以下と2ストローク250ccの公道用一般車両が対象。一世を風靡したレーサーレプリカなど個性的なバイクが参加します。排気量と気筒数により、Small I、Small IIと参加車両のカテゴリーが分かれています。

●参加車両例    ホンダNSR250SE    ヤマハTZR250RS    ヤマハSRX600    スズキSV400S  
ホンダCBR400RR    カワサキZXR400R

### 【FUN&RUN Mix Big】

「Mix Big」は、国内外のV型2気筒エンジン搭載車と一般生産型の車両で4ストローク401cc以上のマシンなら何でも参加可能なクラス。国内外メーカーのツインバイク、そしてビッグネイキッドが一堂に会するレースは迫力が違います。特に「C-OPEN」クラスは、排気量が2ストローク251cc/4ストローク401cc以上でホイールサイズが16インチ以上であればどんな車両でも参加可能なクラスです。

●参加車両例    ホンダCBR1000RR    ホンダCB1300SF    ホンダVTR1000SP1    ヤマハYZF-R6    ヤマハXJR1300  
スズキGSX-R600    スズキGSF1200    カワサキGPZ900    ドゥカティ999S    ドゥカティ1098S  
アブリリアRSV1000R



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

イベント全体概要報告

## 梅雨の晴れ間に恵まれた土曜日。 各カテゴリーで激しい戦いが展開された!

「みんなで走ってバイクをもっと楽しもう!!」をコンセプトに始まった参加型レースイベントの「FUN & RUN! 2-Wheels (ファンラン)」。今シーズンは3月11日(土)に開幕し、それから数えること約3か月の6月17日(土)に第2戦が開催された。

“ファンラン”の魅力は様々な排気量、シングル・ツイン・マルチなど様々なエンジン形式のバイクが集まり、一日のうちでたくさんのレースやタイムアタックが見られることだ。この日も小排気量マシンによる「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」、大排気量マシンによる「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」のレースが行われ、特に「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」では3番手以降で激しいバトルが展開され、注目を集めた。

“ファンラン”ではタイムアタックの「ROAD STAR」やレースの「ROAD STAR WARS」も人気だ。これらはナンバー付きバイクで気軽に参戦できる、“ファンラン”の原点と言える競技。今回行われたのは大排気量クラスの「ROAD STAR I/ROAD STAR EXPERT」および「ROAD STAR WARS」だったため、より迫力のあるシーンが披露された。また、津村一博や内田洋一をはじめ、タイムアタック競技とレース競技にダブルエントリーするライダーもいた。

昨今の“ファンラン”では小排気量4ストロークマシンを使った「NEO STANDARD」も注目を集めている。このカテゴリーでは、今までCBR250R/VTR250との混走によってレースが行われてきたG310Rが、参加台数の増加を受けて初めて単独レースとして開催され、いつも以上の接戦が披露された。また、「CBR250R/VTR250」と「Ninja250R/YZF-R25」にダブルエントリーするライダーもいた。

次回はナンバー付きバイクによる「ROAD STAR」と「ROAD STAR WARS」を中心に開催される第3戦。これらのカテゴリーでは小排気量クラス向けと大排気量クラス向けの競技がともに行われる他、今回に続いて「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」も開催される。残暑の暑い時期が続くであろう9月2日(土)の第3戦も是非楽しみにしていただきたい。



NEO STANDARD<CBR250R/VTR250> 決勝スタート直前



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

レースレポート-1【タイムアタック・レース競技】

## ROAD STAR I / ROAD STAR EXPERT I

午後から行われた決勝は15分間によるこのタイムアタック競技からスタート。午前のフリー走行で57秒050のトップタイムをマークした津村一博がアウトラップ後のコースイン2周目に57秒121を記録すると、それに57秒262の内田洋一、57秒390の川尻倫弘と続く。津村は3周目にフリー走行時のタイムを上回る56秒180を記録。さらに4周目に55秒937、6周目に55秒669をマークして自己ベストを更新し続ける。津村、内田、川尻のトップ3は中盤にマシンをピットへ。結局、津村の55秒669が総合トップタイムとなると同時に津村がROAD STAR EXPERT Iのウィナーに。ROAD STAR Iでは総合5番手タイムの57秒265をマークした橋本尚樹がウィナーとなった。



ROAD STAR I総合表彰式 (優勝:橋本尚樹, 2位:齋藤吉晴, 3位:伝宝彰)  
ROAD STAR Iカテゴリー別表彰式 (C1優勝:齋藤吉晴, C2優勝:橋本尚樹, C3優勝:東松範暁)



ROAD STAR EXPERT I総合表彰式 (優勝:津村一博, 2位:内田洋一, 3位:川尻倫弘)  
ROAD STAR EXPERT Iカテゴリー別表彰式 (C1優勝:津村一博, C2優勝:川尻倫弘)

## ROAD STAR WARS I

ROAD STAR EXPERT Iとこのカテゴリーにダブルエントリーした津村一博が公式予選でトップタイムをマーク。ポールポジションを獲得した津村がなんとスタートでエンジンストールする。オープニングラップをトップで帰ってきたのは8番グリッドスタートの秀崎隆。その後には杉本慎平、清水義之と続く。秀崎は3周目に入る頃に単独トップに。三嶋俊一郎が清水をパスすると、三嶋はさらに杉本をもパスして2番手に浮上する。56秒前半でラップする秀崎の後方では三嶋と清水がテールtoノーズのバトルを展開。8周目になると三嶋がペースアップするが、秀崎のテールを捉えることまでは叶わず、秀崎が優勝を決めた。2位は三嶋。清水が3位となった。



ROAD STAR WARS I総合表彰式 (優勝:秀崎隆, 2位:三嶋俊一郎, 3位:清水義之)  
ROAD STAR WARS Iカテゴリー別表彰式 (C1優勝:秀崎隆, C2優勝:十川昌也, C3優勝:清水義之)

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。  
※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。  
※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-2【レース形式競技】

### FUN & RUN Mix Small / EXPERT

公式予選で自身が保有していたコースレコードを上回る55秒712をマークした岸田尊陽がポールポジションからスタート。その岸田と2番グリッドスタートの宮島伸也が横並び状態で1コーナーへと加速していき、岸田がホールショットを奪う。その2台はオープングラップから後方を引き離すことに成功。それに4番グリッドスタートの水本茂樹が続いてオープングラップを帰ってくる。岸田は2周目終了時点では宮島に1秒730のアドバンテージを築いて単独トップに。宮島の後方で3番グリッドスタートの大竹洋司が水本をパス。水本は清水省作の先行をも許す。結局、岸田が宮島以降に5秒897ものアドバンテージを築いてポールtoウィンを飾った。

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。

※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



FUN & RUN Mix Small総合表彰式 (優勝:愛甲正吾、2位:畔柳章、3位:丹後明義)

FUN & RUN Mix Smallカテゴリー別表彰式 (Small I優勝:愛甲正吾、Small II優勝:宇佐美有年)



FUN & RUN Mix Small EXPERT総合表彰式 (優勝:岸田尊陽、2位:宮島伸也、3位:大竹洋司)

FUN & RUN Mix Small EXPERTカテゴリー別表彰式 (Small I EXPERT優勝:岸田尊陽、Small II EXPERT優勝:矢野正幸)



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-3【レース形式競技】

### FUN & RUN Mix Big / EXPERT

吉田和憲が公式予選でコースレコードを更新してポールポジションを獲得。2番グリッドスタートの松永修が良いクラッチミートを披露し、その吉田の横から飛び出していくが、ホールショットを奪ったのは3番グリッドスタートの久積基宏だった。久積、吉田、松永のオーダーでオープニングラップを終了。その3台に野々村誠司を加えた4台がトップグループを形成する。松永がそこから遅れると、5周目の1コーナーでは吉田がトップに。吉田は2番手以降を引き離し始める。久積と野々村がテールtoノーズのバトルを展開。松永が単独4番手を走行する。吉田が2位以降に4秒158ものアドバンテージを築いてトップチェッカー。それに久積、野々村と続いた。

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。

※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



FUN & RUN Mix Big総合表彰式 (優勝: 浅埜昇三、2位: 八木純也、3位: 永井一幸)

FUN & RUN Mix Bigカテゴリー別表彰式 (Big II優勝: 浅埜昇三、Open優勝: 八木純也)



FUN & RUN Mix Big EXPERT総合表彰式 (優勝: 吉田和憲、2位: 久積基宏、3位: 野々村誠司)

FUN & RUN Mix Big EXPERTカテゴリー別表彰式 (Big I EXPERT優勝: 吉田裕文、Big II EXPERT優勝: 松永修、Open EXPERT優勝: 吉田和憲)



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-4【レース形式競技】

### NEO STANDARD ＜CBR250R／VTR250＞

今シーズンより前回優勝チームにライドスルーを行わなければならないというレギュレーションが適用された「NEO STANDARD」。開幕戦のCBR250Rクラスウィナーである奥田 勇人／竹田透組がポールポジションを獲得したが、スタートライダーを担当した奥田が出遅れる。オープニングラップをトップで帰ってきたのは3番グリッドスタートの金田博行。2番グリッドスタートの鈴木克正／福山京太組の鈴木がそれに続く。金田と鈴木はテールtoノーズのバトルを展開。鈴木が金田をパスしてトップに立つが、その後も2台による接戦は続く。10周目に鈴木が一時的に金田を引き離すことに成功。ライドスルーをこなした奥田／竹田組は11周目終了時点で再びピットに入り、竹田にライダーチェンジする。

鈴木／福山組もピットインし、福山にライダーチェンジ。金田もピットに入る。前回のVTR250クラスウィナーである上平真がライドスルーを終了する。結局、CBRクラスの金田、VTRクラスの高橋潤、同じくVTRクラスの樋口圭祐のオーダーでチェッカーを受けた。

- ※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。
- ※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。
- ※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



NEO STANDARD＜CBR250R＞（優勝：金田博行、2位：奥田勇人／竹田透、3位：河上徹弥／後呂好員）



NEO STANDARD＜VTR250＞（優勝：高橋潤、2位：樋口圭祐、3位：上平真）



# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-5【レース形式競技】

### NEO STANDARD <G310R>

昨シーズンのG310Rクラスチャンピオンであり、前回ウィナーでもある佐々木龍人が公式予選で唯一の1分03秒台となる1分03秒276をマーク。ポールポジションからスタートしたその佐々木が良いクラッチミートを披露し、ホールショットを奪う。佐々木の背後に2番グリッドスタートの栗田学が接近。しかし佐々木はオープニングラップ終了時点では早くもピットに入る。3番グリッドスタートの小牧寛由、栗田、4番グリッドスタートの山口直哉のオーダーでオープニングラップを終了。小牧と山口は横並びの状態で4周目の1コーナーへと飛び込んでいく。その背後に谷野昌俊／松浦光利組の松浦が迫ると、松浦は山口、小牧を一気にパス。松浦と小牧は周回ごとに順位を入れ替えるバトルを展開する。

13周目終了時点で松浦がピットインし、谷野にライダーチェンジ。栗田と小牧もピットに入る。山口、小牧、栗田のオーダーでレースを終えたが、決勝レース中の遵守事項違反により、その3台にペナルティが出され、佐々木の優勝が決まった。



NEO STANDARD<G310R> (優勝:佐々木龍人、2位:谷島友和、3位:谷野昌俊／松浦光利)

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。

※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

※正式結果はウェブサイトでご確認ください。





# 2023 FUN&RUN! 2-Wheels

17 Sat. JUNE in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

## レースレポート-6【レース形式競技】

### NEO STANDARD<Ninja250R/YZF-R25>

昨シーズンのYZF-R25クラスでチャンピオンに輝き、前回の同クラスでも優勝を決めている鳥居典生がポールポジションを獲得。前回のNinja250Rクラスウィナーである増田啓太は12番グリッドからのスタートとなる。

鳥居が真っ先に1コーナーへ。5番グリッドスタートの杉島潤がそれに接近する。鳥居、杉島、2番グリッドスタートの中村和悦が3周目のメインストレートを横並び状態で通過。その3台に3番グリッドスタートの細川和彦／本田知英組、昨シーズンのNinja250Rクラスで全戦優勝を飾り、今回は4番グリッドからのスタートとなった山本晃久を加えた5台がトップ集団を形成する。

ルーティーンのピットインに加え、ライドスルーを余儀なくされている鳥居はファステストラップを更新しながら走行。細川／本田組は14周目終了時点で、山本は15周目終了時点で、鳥居、杉島、中村は19周目終了時点でそれぞれピットへ。鳥居はさらに次の周でピットストップを行う。上位陣がピットインを終えた後、杉島が単独トップに。そのままトップチェッカーを受けた。

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。

※表彰式に不参加の選手、あるいは代理の場合もあります。

※正式結果はウェブサイトでご確認ください。



NEO STANDARD<Ninja250R> (優勝:廣瀬直人、2位:山本晃久、3位:細川和彦／本田知英)



NEO STANDARD<YZF-R25> (優勝:杉島潤、2位:中村和悦、3位:鳥居典生)